

平成 19 年度新入生の健康調査結果 —健康関連 QOL 尺度 SF-36 の導入—

足立 由美

I. はじめに

昭和 44 年度に金沢大学に保健管理センターが設置された。保健管理センター報告第 1 号には、保健管理センターの規程第 2 条に業務が書かれており、「六 保健管理の充実向上のための調査研究」が明記されている¹⁾。初年度の調査は、M.M.P.I の金沢大学改訂短縮版 (KM 調査票) という心理テストがそれにあたる。入学者のうち、1,232 名 (98.5%) がテストを受け、各尺度得点が標準より非常に偏っている人が 73 人 (5.9%) との結果が報告されている。

平成 19 年度保健管理センター報告書第 35 号は保健管理センター年報・紀要創刊号として新たなスタートを切った。新入生の健康調査は内容や形を変えながら継続されてきたが、いつしか報告がされなくなっていた。本稿では、健康調査の目的と意義を再確認し、予防的健康教育を実践していくために、平成 19 年度の健康調査の内容と結果を報告したい。

II. 対象と方法

1 調査の目的

健康調査は学生個人の健康管理に役立てることを目的とする。記名式で行い、健康管理システムでセキュリティに配慮して管理する。

2 調査対象者と調査方法

平成 19 年度に入学した学部 1 年生と編入生 (3 年生) を対象とし、前年度に入学手続き資料とともに郵送し、平成 19 年 4 月 4 日～6 日の新入生対象の健康診断時にマークシートの提出を求めた。質問票は入学要綱に印刷されており、同封のマークシートに回答する形式をとった。健康調査に関する説明をし、同意書も提出を求めた。

本稿での分析対象者は学部 1 年生のみとした。男性 1,111 名 (62.0%)、女性 680 名 (38.0%) の 1,791 名であった。

3 調査内容

調査内容は健康関連 QOL 評価尺度 SF-36v2 の日本語版尺度 (以下、SF-36) 36 項目と、保健管理センターが作成した金沢大学健康調査質問票 27 項目の全 63 項目であった。SF-36 は国際 QOL 評価 (IQOLA) プロジェクトによって 40 ヶ国以上で用いられているグローバルスタンダードな指標であり²⁾、ライセンス契約を結んで平成 19 年度から導入した。SF-36 の 8 尺度とその内容を表 1 に示す。

4 解析方法と得点の解釈

SF-36 の 8 尺度得点は集計用のファイルで算出するもので、それぞれ重みづけによって 100 点満点に調整された 0-100 得点と国民標準値得点がある。SF-36 において得点が低いことは、その下位尺度の状態が悪い、または健康度が低いことを意味し、得点が高いことは、状態がよい、または健康度が高いことを意味する。データの集計には SPSS15.0J を用いた。

III. 結果

SF-36 の平均値を表 2 に、0-100 得点の分布を図 1 に示す。欠損値を除外すると有効回答は 1,777 名分となった。0-100 得点の性別分析の結果、体の痛み ($t_{(1293, 616)} = 2.231, p < .05$)、全体的健康感 ($t_{(1547, 513)} = -4.298, p < .001$)、活力 ($t_{(1775)} = 2.064, p < .05$)、心の健康 ($t_{(1775)} = 3.410, p < .01$) について性差が認められ、全体的健康感は女性が有意に高く、その他はすべて男性が有意に高かった。

金沢大学健康調査質問票の回答は資料 1 に示す。

IV. 考察

SF-36 の結果から、全般に身体的健康度は高いものの、全体的健康感、活力、心の健康などの精神的健康度は個人差が大きいことが示唆された。本学学生の特徴は今後

数年間のデータとの比較によって明らかになるだろう。³⁾

大学の保健管理センター、学生相談室、カウンセリングセンター等は各大学とも健康診断時や新入生オリエンテーションにおいて調査を行い、入学時から積極的な対応を行っていることが報告されている⁴⁾。本学においても新入生の健康診断時に内科診察と健康調査の回答から、学生にカウンセラーを紹介しその日のうちに話す機会を提供している。今後は、金沢大学健康調査質問票の項目とSF-36の関連を調べ、スクリーニング項目をより明確にしていくことが期待される。

健康調査は個人の健康管理やサポートに役立てることが第一の目的であるが、全般的傾向を把握することでより早い時点でのサポートが可能になる。また、全般的傾向を保健管理センターの教員が担当している1年生前期の必修科目の1コマ「健康論」において学生に伝えることで、予防的健康教育にも役立てることができる。学生の負担に配慮しながら調査を実施し、得られ

たデータを学生にさまざまな形でフィードバックすることが望まれる。

V. 文献

- 1) 金沢大学保健管理センター. 金沢大学保健管理センター報告. 1970 ; 1.
- 2) 福原俊一・鈴鴨よしみ編著. SF-36 v2 日本語版マニュアル. 京都 : NPO 健康医療評価研究機構 ; 2004.
- 3) 安宅勝弘, 影山任佐. 平成18年度ストレスチェックの結果について. 東京工業大学保健管理センター年報 2007 ; 34 : 79-87.
- 4) 足立由美. 新入生に対するサポート—他大学の調査分析と「新入生アンケート」実施報告—. 神戸女学院大学カウンセリングルーム紀要. 2006 ; 11 : 55-62.

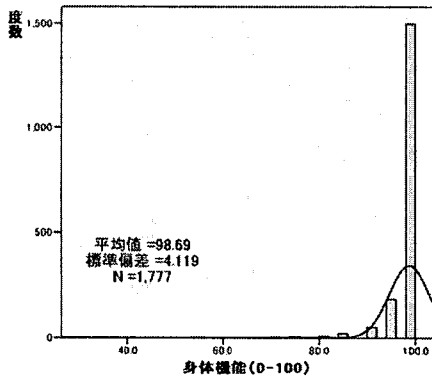
表1 SF-36の項目内容

尺度名	項目内容	備考
1 身体機能	PF 激しい活動を含む活動	(10問、3件法)
2 日常役割機能(身体)	RP 過去1ヶ月間の身体的理由での日常的活動の妨げ	(4問、5件法)
3 体の痛み	BP 過去1ヶ月間の体の痛みとそれによる妨げ	(2問、5~6件法)
4 全体的健康感	GH 健康状態の主観的評価	(5問、5件法)
5 活力	VT 過去1ヶ月間の活力、疲労感	(4問、5件法)
6 社会生活機能	SF 過去1ヶ月間の人とのつきあいの健康上の理由による妨げ	(2問、5件法)
7 日常役割機能(精神)	RE 過去1ヶ月間の心理的理由での日常的活動の妨げ	(3問、5件法)
8 心の健康	MH 過去1ヶ月間の気分	(5問、5件法)

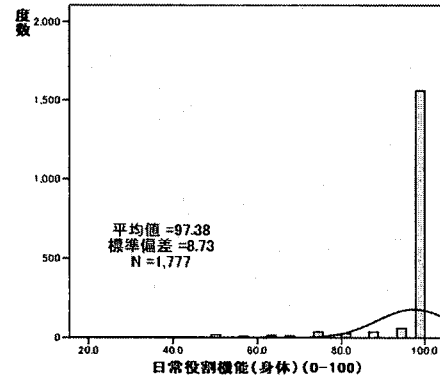
表2 SF-36得点の性別平均値 (N=1,777)

	性別	N		PF	RP	BP	GH	VT	SF	RE	MH
1-100得点	男性	1101	M	98.8	97.1	90.0	74.2	69.9	94.3	93.0	74.9
			SD	4.3	9.3	16.0	17.1	17.9	13.1	15.1	17.3
	女性	676	M	98.5	97.8	88.1	77.5	68.1	93.5	92.4	72.1
			SD	3.8	7.6	18.2	15.3	17.0	13.5	14.2	17.1
	合計	1777	M	98.7	97.4	89.3	75.4	69.2	94.0	92.8	73.8
			SD	4.1	8.7	16.9	16.5	17.6	13.3	14.8	17.3
国民標準値得点	男性	1101	M	57.8	54.6	57.0	55.5	53.9	54.1	53.0	51.7
			SD	3.1	5.1	7.1	9.2	8.8	6.9	7.7	9.2
	女性	676	M	57.6	55.0	56.1	57.3	53.0	53.7	52.7	50.2
			SD	2.7	4.2	8.0	8.3	8.4	7.1	7.3	9.1
	合計	1777	M	57.8	54.8	56.7	56.2	53.5	53.9	52.9	51.2
			SD	2.9	4.8	7.5	8.9	8.6	7.0	7.5	9.2

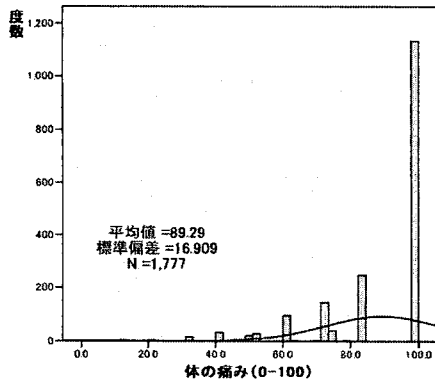
身体機能 (PF)



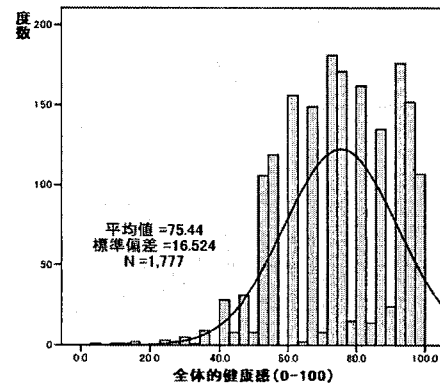
日常役割機能(身体) (RP)



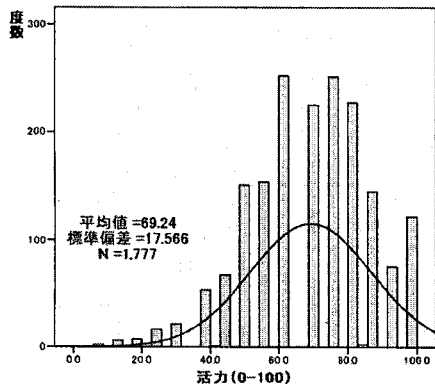
体の痛み (BP)



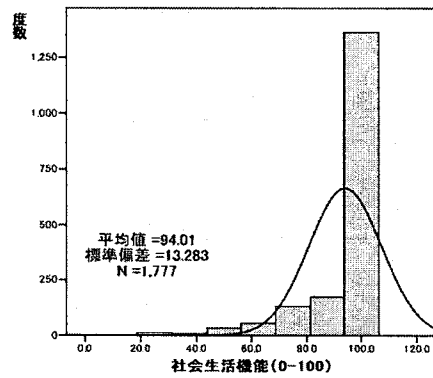
全体的健康感 (GH)



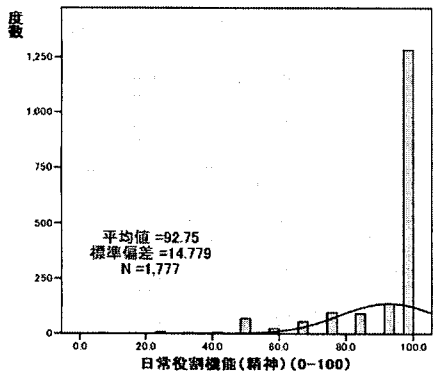
活力 (VT)



社会生活機能 (SF)



日常役割機能(精神) (RE)



心の健康 (MH)

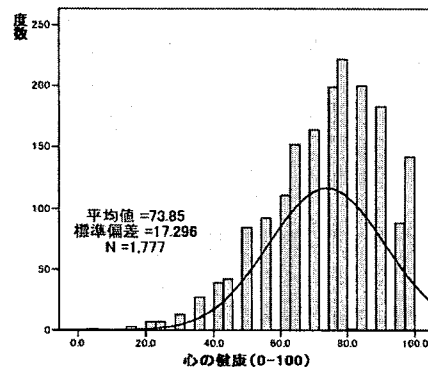


図1 SF-36 0-100得点の分布

資料1 金沢大学健康調査質問票の回答

(1)血液型

	度数	有効パーセント
有効 A	674	37.7
B	405	22.6
O	522	29.2
AB	156	8.7
不明	32	1.8
合計	1,789	100.0

(2)ツベルクリン反応

	度数	有効パーセント
有効 陰性	882	49.8
陽性	506	28.6
不明	382	21.6
合計	1,770	100.0

(3)身体障害

	度数	有効パーセント
有効 ない	1,739	97.3
ある	48	2.7
合計	1,787	100.0

(4)喫煙

	度数	有効パーセント
有効 しない	1,779	99.4
1~10本/日	10	0.6
合計	1,789	100.0

(5)飲酒

	度数	有効パーセント
有効 しない	1,709	95.5
時々飲酒	79	4.4
2日に1度くらい	1	0.1
合計	1,789	100.0

(6)1ヶ月以上の、病気欠席

	度数	有効パーセント
有効 はい	60	3.4
いいえ	1,730	96.6
合計	1,790	100.0

(7)通院、入院等が必要な病気にかかったこと

	度数	有効パーセント
有効 ある	414	23.3
ない	1,366	76.7
合計	1,780	100.0

(8)現在、治療中の病気

	度数	有効パーセント
有効 ある	121	6.8
ない	1,668	93.2
合計	1,789	100.0

(19)過去6ヶ月間新たな頭痛

	度数	有効パーセント
有効 ある	53	3.0
ない	1,735	97.0
合計	1,788	100.0

(9)麻疹罹患歴

	度数	有効パーセント
有効 ある	214	12.1
ない	1,560	87.9
合計	1,774	100.0

(10)麻疹予防接種

	度数	有効パーセント
有効 ある	1,499	85.0
ない	264	15.0
合計	1,763	100.0

(11)風疹罹患歴

	度数	有効パーセント
有効 ある	342	19.4
ない	1,420	80.6
合計	1,762	100.0

(12)風疹予防接種

	度数	有効パーセント
有効 ある	1,084	61.6
ない	675	38.4
合計	1,759	100.0

(13)水痘罹患歴

	度数	有効パーセント
有効 ある	1,352	76.5
ない	415	23.5
合計	1,767	100.0

(14)水痘予防接種

	度数	有効パーセント
有効 ある	347	19.8
ない	1,409	80.2
合計	1,756	100.0

(15)流行性耳下腺炎罹患歴

	度数	有効パーセント
有効 ある	700	39.5
ない	1,071	60.5
合計	1,771	100.0

(16)流行性耳下腺炎予防接種

	度数	有効パーセント
有効 ある	830	47.4
ない	921	52.6
合計	1,751	100.0

(17)社会活動を妨げる反復性頭痛

	度数	有効パーセント
有効 はい	102	5.7
いいえ	1,687	94.3
合計	1,789	100.0

(18)頭痛が4時間以上持続

	度数	有効パーセント
有効 はい	88	4.9
いいえ	1,700	95.1
合計	1,788	100.0

(20)この2週間、

	度数	有効パーセント
有効 悲しいとは感じない	1,154	64.8
悲しいと感じることがときどきある	611	34.3
いつも悲しい	12	0.7
悲しかったり不幸せで、耐えがたい	4	0.2
合計	1,781	100.0

(21)この2週間、

	度数	有効パーセント
有効 自分の将来に対して悲観していない	1,541	86.1
自分の将来に対して、以前よりも悲観している	163	9.1
自分の将来が成功するとは期待していない	81	4.5
自分の将来は希望もなく、ただ悪くなっていくのみだと思う	5	0.3
合計	1,790	100.0

(22)この2週間、

	度数	有効パーセント
有効 自殺しようとは全く考えなかった	1,739	97.2
自殺しようという考えはあるが、実際にはしないだろうと思う	49	2.7
自殺したいと思った	0	0.0
もしも機会があれば自殺するだろうと思った	2	0.1
合計	1,790	100.0

(23)この2週間、

	度数	有効パーセント
有効 食欲も睡眠時間もいつもと変わらない	1,485	83.0
食欲は以前よりもないが、睡眠時間は普段と同じである	156	8.7
食欲は普段と同じだが、睡眠時間は普段よりも短い	128	7.2
食欲は普段よりないし、睡眠時間も以前より短い	21	1.2
合計	1,790	100.0

(24)この2週間、

	度数	有効パーセント
有効 自分に価値がないと感じることはない	1,541	86.1
以前のように自分自身に価値があるとか役に立つとは思えない	115	6.4
他人と比べると自分には価値がないと感じる	120	6.7
自分には全く価値がない	14	0.8
合計	1,790	100.0

(25)金沢大学に入学したら、

	度数	有効パーセント
有効 辛いことがあっても自分を支えてくれるような友だちが、やがてできると思う	1,584	88.5
信頼できる友だちはできないかもしれないが、中学や高校時代の友だちが自分を支えてくれると思う	159	8.9
友だちもほとんどできず、卒業していくように思う	39	2.2
友だちもできず、学校へ行けなくなるかもしれないと思う	8	0.4
合計	1,790	100.0

(26)もしも大学生生活の適応が難しくなったら、

	度数	有効パーセント
有効 自分で解決できなければ、友達や先輩に相談して解決していきたい	1,461	81.6
家族には相談しづらいので友だちや先輩に相談して解決していきたい	218	12.2
先生や信頼できる大人に相談して解決しようと思う	50	2.8
人は信用できないので、自分で解決しようと思う	61	3.4
合計	1,790	100.0

(27)カウンセリングは、

	度数	有効パーセント
有効 これまでも受けてきたので、入学後も継続するか、必要になったら受けようと思っている	36	2.0
これまで受けたことがないし、大学でも受ける必要はないと思う	974	54.4
これまで受けたことはないが、必要になったら受けようと思う	668	37.3
受ける必要はないと思うが、心理学に興味や関心があるので、一度受けてみたいと思う	111	6.2
合計	1,789	100.0